

工学部創立100周年 記念式典・講演会・祝賀会開催報告

工学部100周年記念事業会長
森本 章治（電子昭54）

本学工学部は2020年（令和2年）に創立100周年を迎え、本事業会では同年5月に記念式典等を開催することで準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、対面での記念式典等の開催を再三にわたり延期しておりました。しかし、去る2022年（令和4年）3月19日（土）午後、金沢大学工学部創立100周年記念事業会主催の工学部100周年記念式典・講演会・祝賀会を、ANA クラウンプラザホテル金沢にて、多くの皆様のご臨席を賜り、挙行することができました。式典と特別講演会は、予定どおり対面とオンライン併用のハイブリッド方式で開催し、祝賀会も新型コロナウイルス感染防止対策に万全を期しながら予定どおり実施しました。なお、記念式典でのご出席者数は、対面で56名、オンラインで47名の計103名となりました。

開催に先立って出席者全員で記念撮影〔写真1〕を行った後、予定通り14：00から記念式典が開始されました。事業会長森本より式辞を述べた後、山崎光悦学長（機Ⅱ昭49）より挨拶がありました。次にご来賓

として、石川県知事にご就任予定であった馳 浩様〔写真2〕、衆議院議員小森卓郎様〔写真3〕、ご就任されて間もない金沢市長村山 卓様〔写真4〕から、暖かいご祝辞を賜りました。また、文部科学省高等教育局長の増子 宏様からはビデオメッセージでご祝辞を賜りました。

また、ご臨席の来賓の皆様をご紹介した後、事業会長より「工学部100年の歩み」と題してスライド投影により、1920年（大正9年）の金沢高等工業学校創立から現在に至るまでの工学部、理工学域、自然科学研究科をはじめ金沢大学の工学教育の歴史が説明されました。また、この事業会で実施した募金活動において、高額なご寄附を賜りました長谷川仁一様（化機昭25）の奥様の隆子様へ事業会長から感謝状の贈呈を行いました。

引き続き、16：00より記念講演会が開催され、学界から中沢正隆様（電子昭50、国立大学法人金沢大学理事、東北大学電気通信研究機構 特任教授）より「金沢と私、そして研究」



写真1 集合写真



写真2 馳次期石川県知事



写真3 小森衆議院議員



写真4 村山金沢市長

と題して、小立野時代の思い出と共に、エルビウム添加光ファイバ増幅器研究のお話を分かり易くご紹介いただきました。当日直前に発生した地震による東北新幹線の運転見合わせのため、中沢先生には自家用車で仙台からお越しいただきました。また産業界からは、石川則男様（機械昭53、オーエスジー株式会社 代表取締役社長兼 CEO）に「出稼ぎ地球会社の最前線」と題してご講演いただきました。工作機械用タップで世界のトップシェアを誇る同社の経営戦略を、人気TV番組「ほこたて」の出演映像と共に、分かり易くご講演いただきました。ご講演の詳細はお二人の講演報告をご覧ください。

記念式典や記念講演会の前後の受け付け・休憩時にはロビーに設置したスクリーンにより懐かしい写真のスライドショー投影を行いました。使用した写真は、工業会が保管する小立野キャンパスの航空写真、キャンパスや街の風景、講義・実習・課外活動、工学部運動会などの懐かしい写真に加えて、新たに「発見」された昭和天皇行幸記念写真帳や工学部旧学科教職員集合写真集などから、ピックアップしたものです。

その後、同ホテル内で会場を変えて、18:00より記念祝賀会を開催しました。開宴のご挨拶を金沢工業会長伊藤寛治寛二様（土木昭49）[写真5]より、続いてご祝辞を元金沢大学長林勇二郎様[写真6]と東北大学名誉教授南部健一様（機械昭40）[写真7]よりいただきました。宴の途中では、金沢大学工学部100周年記念式典の開催を成就した証として、最近理工学域本部棟の倉庫で「発見」された金大工学部ダルマへの目入れ[写真8]を山崎学長にやっていただきました。最後に、加納重義副学長（工化昭50）より記念誌のご紹介と中締め[写真9]を行いました。ご出席者の皆様におかれては、感染防止に配慮しながら旧交を温めていただいたものと思います。

なお、事業会へいただいたご芳志の一部を使用させていただき、ご寄付をいただいた皆様のお名前を記したご芳名板を金沢大学角間キャンパス南地区自然科学本館正面玄関ロビーに設置[写真10]いたしました。また地元紙である北國新聞2022年3月17日（木）版11面に金沢大学工学部創立100周年記念事業にかかる



写真5 伊藤工業会長



写真6 林元学長



写真7 南部東北大学
名誉教授



写真8 山崎学長



写真9 加納副学長



写真10 寄附者御芳名板

全面広告を掲載いたしました。

当事業会に皆様から寄せられたご芳志の総額は18,000,000円弱となり、事業にかかる募金活動の趣意書に記載した主な3つの事業、すなわち、①小立野工学部跡地に先蹤^{せんしゅう}顕彰記念碑の建立、②工学部100周年記念誌の編纂、③記念式典と記念シンポジウムの開催等、の内、②及び③の事業については終了し11,000,000円弱を執行させていただきました。残りの①小立野工学部跡地での先蹤顕彰記念碑建立については、未だ交渉中であることを申し添えます。本事業が遅れていることをお詫び申し上げます。

最後になりましたが、工学部100周年記念事業の企画・立案・遂行にあたりまして、尽力いただきました山崎前学長（現復興庁参与、福島国際研究教育機構理事長就任予定）及び加納副学長はじめ、金沢工業会の皆様、金沢大学理工系事務部スタッフの皆様へ感謝致します。（御役職は2022年3月19日現在）